

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	1.その人らしく 2.やすらぎのある生活 3.自立支援 を事業所の理念にしています。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は、毎朝ミーティング時に唱和し、毎日の介護に反映するようにしています。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	「運営会議」や「家族会」開催の都度ご説明し、入居者様・ご家族・ご来訪のお客様の見える所に掲示しています。	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近所に住宅がないため、少し遠くまで散歩に出て、庭先のお花を見せて頂くときなど、気軽に訪問して頂けるようお願いしています。	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	お祭りや小学校の運動会には参加させて頂いていますが、町内会など、地元団体との組織的な繋がりには現在模索中です。	地元に自治会・老人会はありません。町内会には入会できない規則のため、入居者様の出来る行事(神社の掃除など)から参加させて頂き、徐々に交流を深めていきたいと考えています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	町内会の活動が少なく、事業所としてもめばしい地域貢献は出来ていませんが、現在は、施設周辺のゴミ拾いや草取りをしています。		地域との関わりについて、職員間で意見を出し合い、施設として貢献出来る事を考えていきたいと思っています。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価で明らかになった課題項目の改善について、月1回のリーダー会議で検討しています。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	まだ、2回しか実績がありませんが、日々のサービスや行事、外部評価結果と取り組みについて報告し、出席者のご意見を伺っています。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市とは、運営者が窓口となってサービスの質の向上を図っています。事業所は、運営推進会議に地域包括支援センターの職員に出席して頂き、連携を図れる体制を目指しています。		市の高齢施設課には、課題があるときに外向いてご指導を頂いていますが、今後は、随時電話やFAXでも指導して頂ける関係を築いて、サービスの向上を図っていききたいと考えています。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、入居者様全て、ご家族が「身元引受人」になって、契約と金銭管理のチェックをして頂いていますので、活用はしていませんが、今後、必要なケースが生じた場合には活用したいと考えています。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	絶対に起こさないよう、事業所内での研修を実施するとともに、市やグループホーム連絡会などが実施する外部研修にも積極的に参加しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>現状は、希望する職員を、市や公業界体が主催する講演会や研修会に参加させていますが、今後は、介護の質の向上を目指して内部の職員研修に力を入れていきたいと考えています。</p>	<p>「ご利用者様に対する接遇・マナー」「介護保険制度とサービス」「認知症の知識」「身体介護技術」「医療の知識」「緊急時の対応法」等について年間カリキュラムを組んで内部の職員研修を実施していきます。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>運営者は、新設のグループホームへのノウハウ提供やご利用者様の紹介等で若干交流はありますが、管理者や職員間の相互訪問や交流にまで至っていません。</p>	<p>地域の同業者と相互訪問や交流を深め、将来的には講師を招聘しての合同勉強会の実施や、地域のネットワーク構築に繋げる事が出来たら良いと考えています。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>月1回の「リーダー会議」と「フロア会議」に出席して、職場環境の改善に努めています。</p>	<p>職員間の親睦を深めるため、食事会の実施等、定期的な慰労とストレス解消の機会を設けていきたいと考えています。</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員の向上心を奨励し、勤務状況に応じて、パート社員でも昇進・昇給が可能な方針をとっています。</p>	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>アセスメントは、ご家族に状況を伺い、その上でご本人のご希望をゆっくり伺って対応するようにしています。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>認知症の症状の理解から、経済面の不安まで、納得が得られるまでご説明して不安を解消して頂いています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の状態やご家族の必要とされているサービスを伺い、グループホーム以外のサービスを含めたご説明をしています。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居されたときは入居者様全員にご紹介しますが、馴染まれるまでは、先に入居されている入居者様との間を、職員が取り持って、円滑なコミュニケーションが図れるようにしています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒にお茶を飲みながら昔話を伺ったり、ご趣味の編み物や料理を教えて頂きながら信頼関係を築いています。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	定期受診や買い物など、ご家族にご協力頂ける事をお願いして、職員と一緒に支え合っています。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご親族の結婚式や法事、ご家族の旅行などに出席・参加出来るように支援しています。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や知り合いの面会時には、ご本人のお部屋でゆっくりお話しして頂き、時どき、友人や知り合いを忘れないよう、電話や手紙を頂く方々のお話をしています。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者様同士の関係が悪くならないよう、また、一方の入居者様に負担が掛からないよう、問題と対応をフロア会議で検討し、ユニット全体の間人間関係が円滑にいくように努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	時どき、退去された方のお話はしていますが、ご連絡は取っていません。		今後、退去される方が出た場合は、定期的にご連絡を取り、より良い関係を維持していきたいと考えています。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員一人一人が把握している、入居者様全員の希望や訴えを、フロア会議の中で全職員が共有し、日常の介護に反映させています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント情報だけでなく、ご利用者様との日常会話の中から、自宅での生活をさりげなくお聞きし、出来るだけ自宅の生活に近い生活が出来るよう対応しています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員は、出勤時に必ず「申し送りノート」に目を通し、入居者様一人一人の現在の状態を把握するように努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月1回のフロア会議の中で、全職員の合議でケアプランを作成し、ご家族の確認を頂いて、追加事項がある場合は付け足しています。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ご本人の状態が変化した時には、職員間で医療機関の指示に沿った対応を検討し、ご家族の同意を得てケアプランの見直しをしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護経過記録を、日勤者と夜勤者が毎日記録して情報を共有し、ケアプランの見直しに活かしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ADLが低下したり、入浴が困難になったご入居者様は、ご本人とご家族に相談の上、機械浴の設備のある系列のグループホームに移動して頂く事が出来ます。また、ご本人・ご家族が希望され、入居可能な状態であれば「高齢者専用住宅」への入居も出来ます。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	入居者様の離施設時には、交番、バス会社、タクシー会社、JRと連絡を取り、捜索の依頼をしています。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現状ではご要望がありませんが、ご要望があれば支援致します。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在はご依頼やご要望がありませんが、ご依頼やご要望があればご相談致します。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関以外にも、以前からのかかりつけ医や、ご本人・ご家族が満足される医療機関を受診して頂いています。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症の周辺症状は、徐々に多く強くなっていくため、精神科専門医との関係強化を図って、少しでも穏やかな生活を長く送って頂けるようにしています。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>ともに、2週間に1度の、提携病院医師の往診と、看護師の訪問看護に加え、24時間医療連携体制をとって、日常のみならず緊急時にも安心な医療体制となっています。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>ご利用者様の入院中は、毎日状態を看に行き、主治医、メディカル・ソーシャルワーカーと早期退院に向けた相談をしています。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>病状が悪化した際には、ご本人の意思とご家族の意向を尊重し、主治医と相談の上方針を決定しています。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>疾患・病態によって異なりますが、原則的には、主治医と相談の上、点滴や中心静脈栄養などの医療行為が必要になる直前までは、ホームでお世話させて頂く事になっています。</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>事前に、ご本人の状態に合った施設かどうかを確認し、生活歴や医療の情報の提供をしています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>全入居者様個室のため、プライバシーは保たれており、トイレ・入浴は施設して介助しています。プライベートなお話は個室でし、会話は入居者様の立場や気持ちを尊重した対応をしています。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>ご利用者様の理解力に合わせて説明し、その時の状態により嫌な事はお願いせず、ご本人の意思を尊重するようにしています。食材の調理方法も、ご利用者様に決めて頂いています。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>食事と入浴以外は、入居様同士が会話を愉しまれたり、趣味や娯楽を愉しまれたり、皆様が自由に過ごして頂けるようにしています。</p>	
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>訪問美容師が1ヶ月半に1度来て、ご本人のお好みに応じたヘアスタイルにしてくれています。衣服は、ご本人の愛着のある物を大切にしています。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者様の力に応じて、お米を研いだり、野菜を切ったり、得意の天ぷらや揚げ物を揚げて頂いたりして、会話をしながら食事をしています。盛り付けや配膳、後片付けもみんなで行っていきます。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>水分の補給は、お好みの飲み物を楽しんで頂いています。また、入居者様が何時でも好きな飲み物が買えるよう、自動販売機も設置しています(現在はお酒、タバコを希望されるご利用者はいらっしゃいません)。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	さりげなく定期的にトイレ誘導し、リハビリパンツやパットを使用しなくて済むよう支援しています。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日中は常にお湯を張って、好きな時間に入浴して頂けるようにしています。入浴剤も入れて「温泉気分」を楽しんで頂いています。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜、安眠出来るよう、日中、休息を取って頂きながら、レクリエーションや散歩などで出来るだけ体を動かして頂く工夫をしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	庭や室内の掃除、洗濯物干しと取り込み、食材のチェックなど、日常生活の中で自然に役割が決まっています。年間を通して、お花見、花火大会、運動会、餅つきなど多くの行事を実施しており、月2～3回の外食を兼ねたレジャーや、年1回の1泊旅行も楽しんで頂いています。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自動販売機を設置しており、入居者様は自由に買い物出来ます。お札やコインの投入時はご利用者様の力に応じた支援をしています。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者様を何組かに分けて、買い物や散歩にお連れしています。また、建物にはテラスがあって、テラスの前は芝生の庭と畑になっており、ご利用者様が自由に日光浴やガーデニングを楽しめるようになっています。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お茶の時間に、入居者様の行きたい所や、行ってみたい所の希望を聞いたり、職員から提案したりして、毎月のお食を兼ねたレジャーの行き先を決めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は、入居者様からご要望があれば、いつでも自由に使用して頂いています。もちろん手紙も自由に出して頂いています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	自由に訪問して頂き、個室でゆっくり過ごして頂いています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修を受講した職員は、受講内容を解りやすく他の職員に説明する事になっており、身体拘束に付いても何度の色々な説明を聞き、良く理解しています。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	非常口と玄関は、夜勤者1人で対応出来ないため、安全上の理由から夜間のみ施錠しています。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は、職員間で声を掛け合いながら、常に入居者様の様子を把握し、危険の無いよう見守っています。夜間は、3時間ごとに、夜勤者が巡回して安全を確認しています。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物や洗剤は、鍵の掛かる場所に保管しており、入居者様を使用する場合には、必ず職員が見守りをする事にしています。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	薬は、服用まで3回確認する事で誤薬を防ぎ、コンニャクは糸コンニャクを使用し、餅は小さく切って食べる時の見守りを徹底して事故を防いでいます(魚は骨を抜いたものを使用しています)。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員10中7名が救命講習を受講しています。		ホーム内で2年ごとの継続講習を計画中です。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の避難方法と避難場所は決めていますが、定期的な訓練は実施できていません。		早急に防災計画を作成し、定期的な避難訓練を実施したいと考えています。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご家族に、現在の状態を理解して頂き、この先のリスクも含めたご説明をさせて頂いています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェック・食事・排せつの変化などから異変を発見し、医療連携病院に連絡して、医師や看護師の指示を仰いでいます。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様が、現在服用している薬剤の一覧表を作成して、病名・薬品名・用法用量・副作用を全職員が理解できるようにしています。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排せつチェック表の便秘の日数に応じて、水分の補給、運動、マッサージ、薬剤の投与を実施しています。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、入居者様全員に口腔ケアの声掛けをして、一部介助や見守りをしながら支援しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は、栄養士がカロリーと栄養バランスを計算した食材を購入して作っています。水分はカウンターに、水・麦茶・お茶のポットを置いて、いつでも自由に摂取出来るようにしてあります。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	「感染症を持ち込まず・拡大させず・被害を最小限に留める」マニュアルを作成して、研修会を実施しています。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	業者が配達した食材はチェック後直ちに冷蔵庫に保管し、使用した食器や調理器具は、毎回食器乾燥機で殺菌しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	門は常に開け、駐車場は入居者様と掃除をし、庭には花を植え、玄関周りには鉢植えを置いて、どなたでもいつでも入りやすいようにしています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	証明は暖色系にし、出窓にはカーテンをして柔らかな光が入るようにしています。また、季節に合わせた貼り絵やカレンダーを、ご利用者様と一緒に作って壁に貼り、季節感を失わないようにしています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビの前にはコタツ式のテーブルを置き、廊下の中央と奥にはベンチ椅子を置いて、入居者様同士がいつでも談笑出来るようにしています。相談室も開放して自由に使えるようになっていきます。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の使い慣れた家具や大切にされている物を、お好きなようにレイアウトして、ご自宅と同じよう過ごして頂いています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	室内の温度は、入居者様が快適なように、エアコンと窓の開閉で調節しています。また、室内は閉め切った状態にせず、にエアコンを使用する際にも1ヶ所の窓を開けるようにしています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な箇所には手すりを設け、床には水こぼしや余計な物が無いようにしています。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	理解力が低下している入居者様には、他の入居者様に気付かれないよう介助し、理解力のある入居者様には声掛けして、見守りながら支援しています。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	テラスでお茶を楽しんだり、芝生の庭で運動会をしたり、畑には季節の野菜を植えて、入居者様と収穫を楽しんでいます。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

[必要箇所には手すりを設け、床に必要な無いものを置かないようにしている。特に力を入れている点・アピールしたい点]
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・押し付けにならず、その時の体調や気持ちに応じた柔軟なケアに心がけ「その人らしく」暮らせる環境を創っています。
- ・家庭菜園の・季節の収穫をみんなで分かち合える「ゆとりのある生活」があります。
- ・季節感を忘れない行事を心がけています(初詣・お花見・夏祭り・花火大会・運動会・クリスマス・餅つき)。